

説明 & 相談会

- 主催：一般社団法人 電気自動車普及協会（APEV）
- 日時：5月29日（日） 15時-16時(GMT+9:00)
- Teamsオンライン会議にて

Timetable

- 15:00 開会宣言 : 事務局 安嶋 言一郎

[A] 15:01~15:05 『ウォーミングアップ』 : 日本IBM 中山 透氏

[B] 15:05~15:20 『コンテスト主旨および補足』 説明

- ・ 5分 主旨説明 : 山下 敏男 実行委員長
- ・ 10分 補足説明 : IBM 佐藤 圭一氏

[C] 15:20~15:59 『クロストーク』 参加者との質疑応答

- ・ ファシリテーション : 日本IBM 中山 透氏
- ・ パネラー : 山下 敏男 実行委員長+日本IBM 佐藤 圭一氏+東京工科大学 相野谷 威雄先生
- ・ 相談会 : 事前にSNSで戴いた内容や当日の質問に回答
- ・ マッチング : チームの希望を聞き後日マッチングへ移行

- 15:59 閉会宣言 : 事務局 安嶋 言一郎

Request

- ご参加の皆様は通常はマイクをミュートにしてカメラをオフにしておいてください。
- ご質問のある方は随時「Slido」を使ってお送り下さい。質疑応答の中でお答えします。
- お答えについて更に質問がある場合や意見を求められた時は、マイクをオンにして口頭で質問して下さい。
- このイベントは録画して一般に公開されます。名前を公開できない方は、発言や書き込みの時は仮名を使ってください。
- アンケートはこちらに回答をお願いします。(期限6月1日) <https://onl.tw/d27iLx6>

皆様の参加申込を心よりお待ちしております。申し込み〆切**6月20日 (月)**

Timetable

- 15:00 開会宣言 : 事務局 安嶋 言一郎

[A] 15:01~15:05 『アイスブレイク』 : 日本IBM 中山 透氏

[B] 15:05~15:20 『コンテスト主旨および補足』 説明

- ・ 5分 主旨説明 : 山下 敏男 実行委員長
- ・ 10分 補足説明 : IBM 佐藤 圭一氏

[C] 15:20~15:59 『クロストーク』 参加者との質疑応答

- ・ ファシリテーション : 日本IBM 中山 透氏
- ・ パネラー : 山下 敏男 実行委員長+日本IBM 佐藤 圭一氏+東京工科大学 相野谷 威雄先生
- ・ 相談会 : 事前にSNSで戴いた内容や当日の質問に回答
- ・ マッチング : チームの希望を聞き後日マッチングへ移行

- 15:59 閉会宣言 : 事務局 安嶋 言一郎

[A] 15:01~15:05

『ウォーミングアップ』

日本IBM 中山 透氏

日本アイ・ビー・エム株式会社
テクノロジー事業本部
クライアント・エンジニアリング部
ビジネス トランスフォーメーション
コンサルタント

Slidoアクセス用QRコード



Timetable

- 15:00 開会宣言 : 事務局 安嶋 言一郎

[A] 15:01~15:05 『アイスブレイク』 : 日本IBM 中山 透氏

[B] 15:05~15:20 『コンテスト主旨および補足』 説明

- ・ 5分 主旨説明 : 山下 敏男 実行委員長
- ・ 10分 補足説明 : IBM 佐藤 圭一氏

[C] 15:20~15:59 『クロストーク』 参加者との質疑応答

- ・ ファシリテーション : 日本IBM 中山 透氏
- ・ パネラー : 山下 敏男 実行委員長+日本IBM 佐藤 圭一氏+東京工科大学 相野谷 威雄先生
- ・ 相談会 : 事前にSNSで戴いた内容や当日の質問に回答
- ・ マッチング : チームの希望を聞き後日マッチングへ移行

- 15:59 閉会宣言 : 事務局 安嶋 言一郎

[B] 15:05~15:20

『コンテスト主旨および補足』 説明

A circular graphic with a light blue background and a white hand pointing upwards. Inside the circle are various terms related to electric vehicles and smart mobility, including: EV, Innovation, Subscription, Connectivity, SaaS, Autonomous, after 5G, Value, Design, Environment, Electrification, Services, Energy, Carbon Free, and UX.

- ・ 5分 主旨説明 : 山下 敏男 実行委員長
- ・ 10分 補足説明 : IBM 佐藤 圭一氏

[B]-1 15:05～15:10

主旨説明：山下 敏男 実行委員長

デザイン系を含む幅広い学生の参加を期待して・・・
「ビューティーコンテスト」ではないことを
再確認したい！！

コトから発想

デザイン思考を中心とした発想

評価基準得点割合：70点

- ① 2040年に予測される社会価値の有り様と人々の生活に対する課題の考察
- ② 考察を踏まえ向かうべき理想的なあるべき姿を提示
- ③ 人々の生活形態を踏まえ解決の道すじの仮説を構築する

モノから発想

スタイリングを中心とした技術面での発想

評価基準得点割合：30点

- ④ ソフトウェア的思考をベースにスタイリング表現にて新規性や差異化を探求
- ⑤ 具体的実現性に関する調査を裏付けに解決策を技術的背景としてスタイリングにまとめる

① 20点	② 20点	③ 20点	②④ 20点	10点	⑤ 10点
社会課題の考察	2040年社会ビジョン	解決策のコンセプト	社会デザイン及びその中でのEVの位置づけとデザイン	オリジナリティ	2040年での実現の可能性を秘めていること

* 過去4回のコンテストイメージ

[B]-2 15:10～15:20

補足説明 : IBM 佐藤 圭一氏

日本アイ・ビー・エム株式会社
テクノロジー事業本部
クライアント・エンジニアリング部
デザイナー

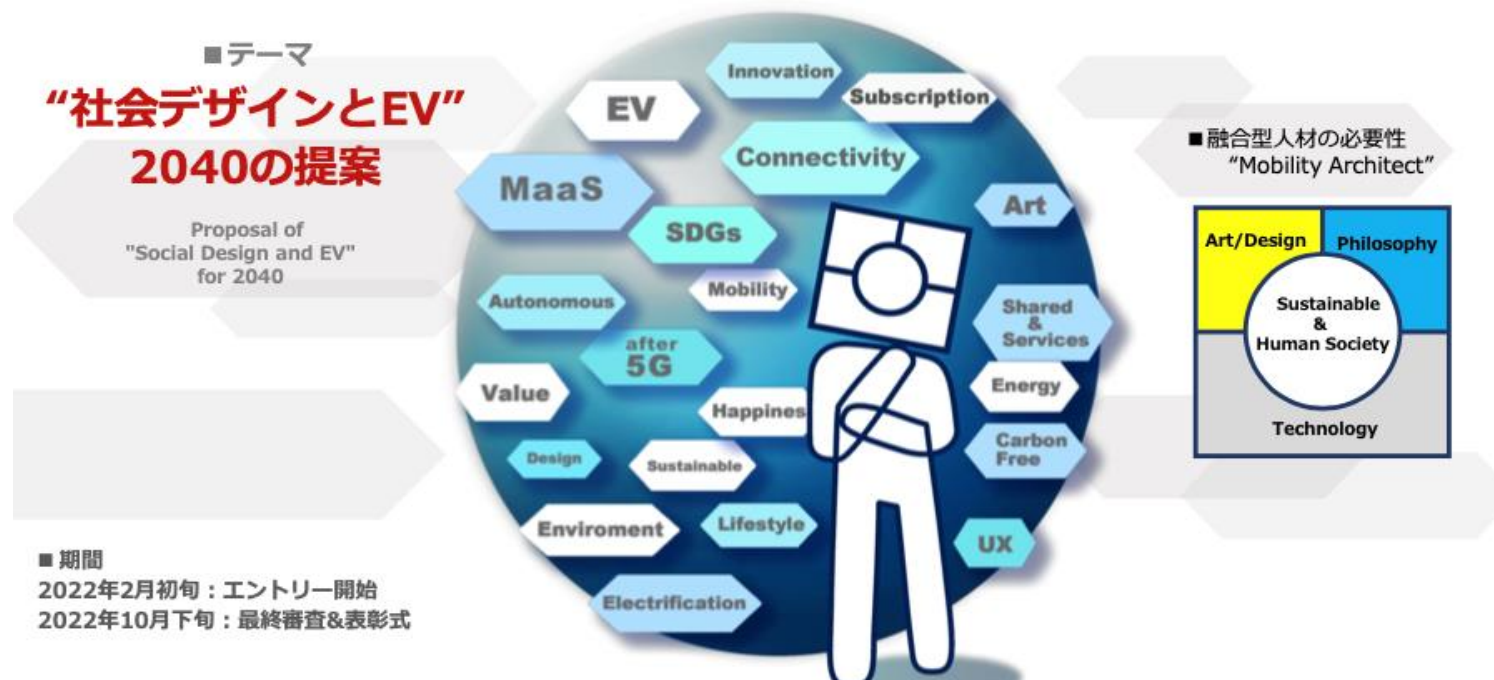
応募者の方にとっての価値・魅力は何か？
どんな人が応募できるのか？

1. 本資料の目的	_____	P3
2. 応募者の方にとっての価値・魅力は何か？	_____	P4
3. どんな人が応募できるのか？	_____	P5
4. デザインのスタートは課題設定から	_____	P6
5. 補足：時代と共に移り変わるデザイン	_____	P7

1.本資料の目的

本コンテストに応募を検討されている学生の方々、
サポートして下さる教育機関の先生の方々に対して、
コンテストへの疑問や不安を払拭していただき、

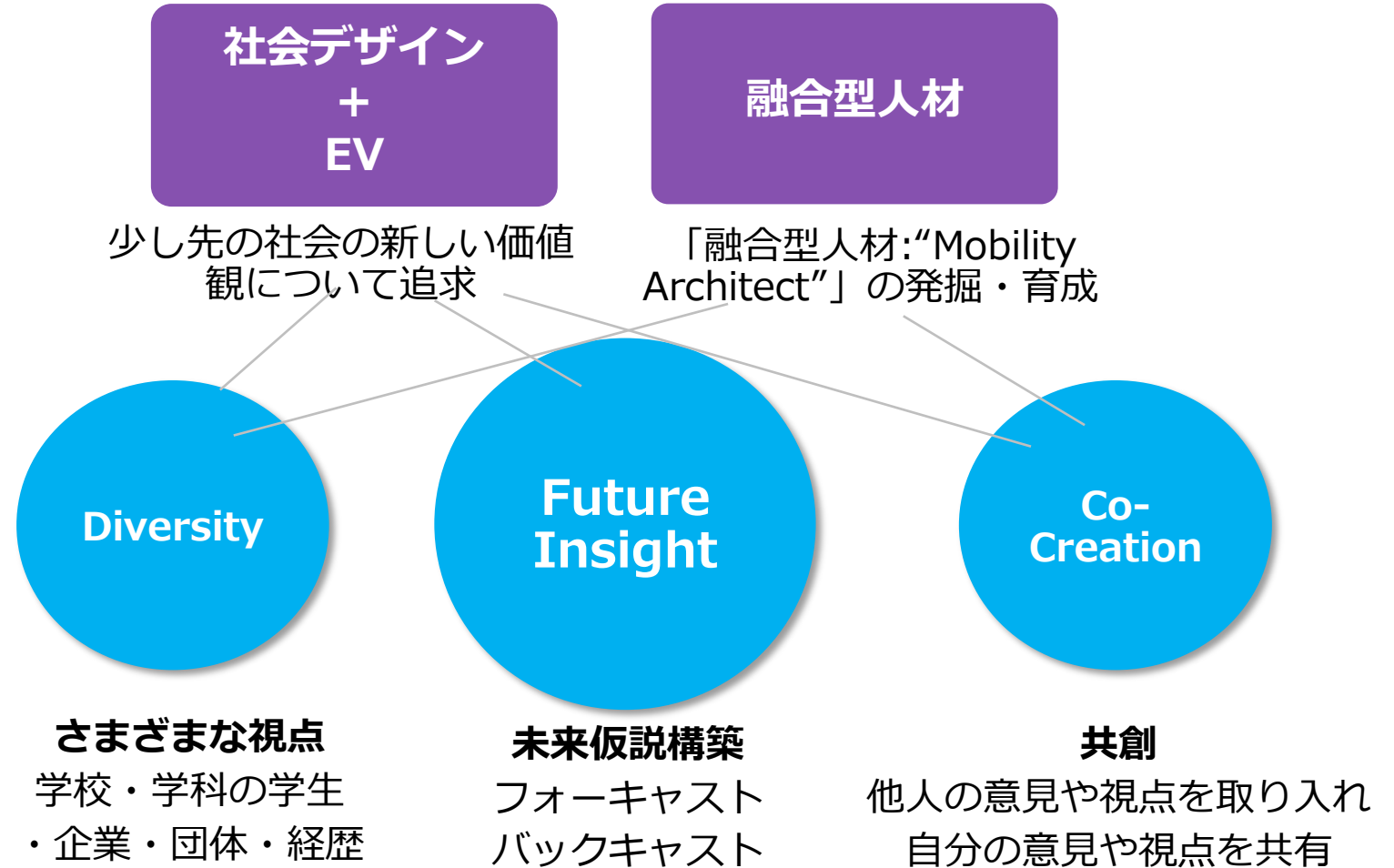
幅広い分野を学ばれている学生の皆様に積極的な応募を訴求する。



2.応募者の方にとっての価値・魅力は何か？

今回のコンテストの骨子－主催側の目的

応募者の方が得られる体験



俯瞰してみる力、概念化力、コラボレーション力を身につけることができる

3.どんな人が応募できるのか？

今回のテーマ：“社会デザインとEV”

2040年まであと19年！
どこまで・何ができるのか？
社会のデザインとは？
EVの未来は？



環境問題

人口問題

高齢化

テクノロジー進化

ライフスタイル

法規制

社会の課題はより複雑化している

未来の課題解決者＝学生メンバー

「2011年度にアメリカの小学校に入学した子供たちの65%は、
大学卒業時に今は存在していない職業に就くだろう」

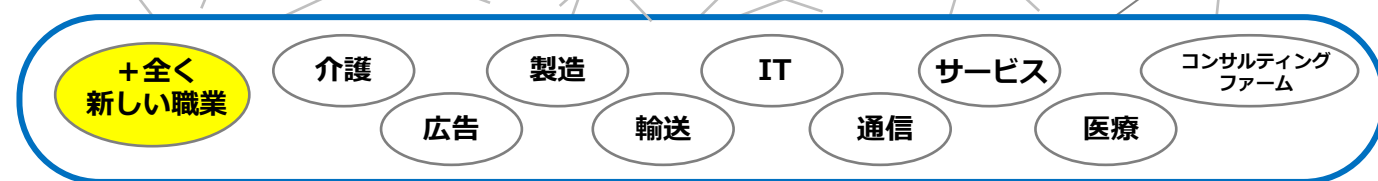
(キャシー・デビッドソン氏（ニューヨーク市立大学教授）の予測)

出典：産業競争力会議 雇用・人材・教育WG（文部科学省提出資料）

バックグラウンド
(今学んでいること)



社会的役割
(将来の私)

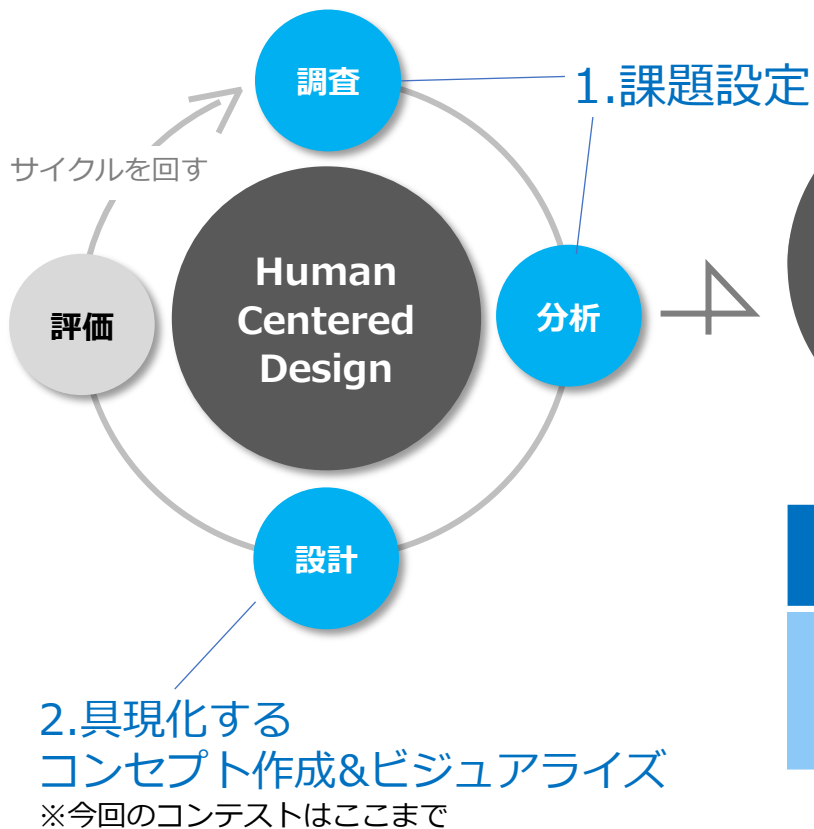


解決には多様な視点＝バックグラウンドが必要

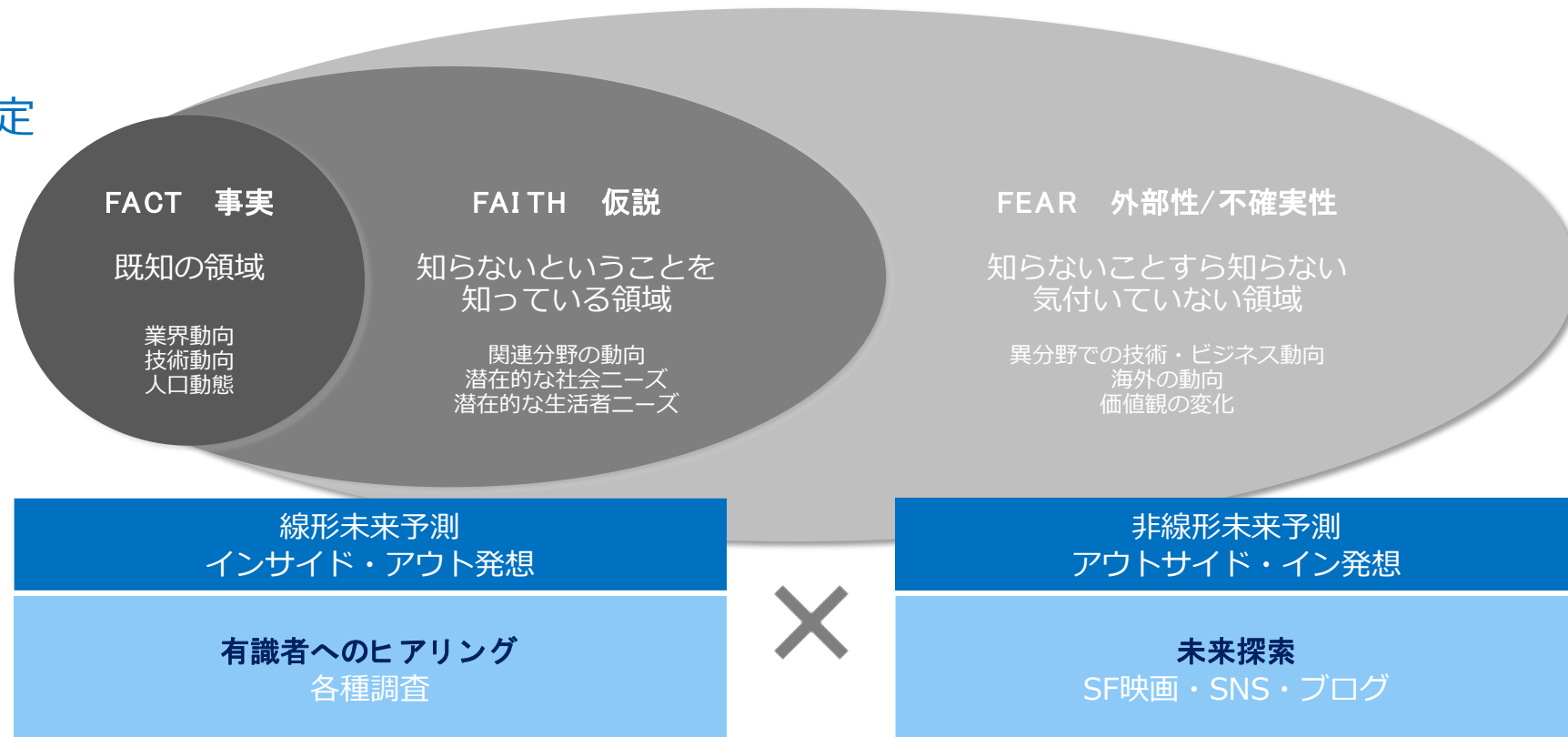
さまざまなバックグラウンドを持ち、未来社会創造を目指す人全ての方が応募の対象です。

4.デザインのスタートは課題設定から

人間中心のデザインプロセス



未来仮説構築のアプローチ

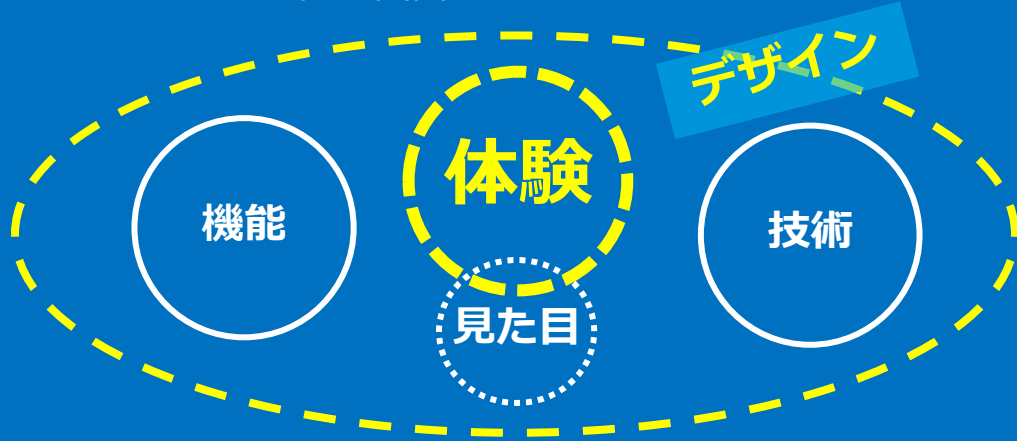


思い思いの2040年の未来像を描いてください！

いきなり意匠からスタートではなくて、課題設定をしっかりとってください。
課題設定は、みなさんが自由にしてOK！！

補足1：時代と共に移り変わるデザイン



1800～1990年代 モノづくり	年代	1990年代後半から現在 コトづくり・体験
機械 商業主義 マスメディア	時代背景	インターネット 環境・人権 ソーシャルメディア
大量生産・大量消費	消費	パーソナライズ、多様性
効率、競争、独占	ビジネス環境	独自性、共創、共有
消費を喚起するためにデザインにおける「意匠」が肥大化して一般化 	価値創造	消費社会が進み、見た目のデザインにおける差別化・競争力が低下 デジタル化によりモノとしてのカタチが消え 意匠が画面のUIになることも 

Timetable

- 15:00 開会宣言 : 事務局 安嶋 言一郎

[A] 15:01~15:05 『アイスブレイク』 : 日本IBM 中山 透氏

[B] 15:05~15:20 『コンテスト主旨および補足』 説明

- ・ 5分 主旨説明 : 山下 敏男 実行委員長

- ・ 10分 補足説明 : IBM 佐藤 圭一氏

[C] 15:20~15:59 『クロストーク』 参加者との質疑応答

- ・ ファシリテーション : 日本IBM 中山 透氏

- ・ パネラー : 山下 敏男 実行委員長+日本IBM 佐藤 圭一氏+東京工科大学 相野谷 威雄先生

- ・ 相談会 : 事前にSNSで戴いた内容や当日の質問に回答

- ・ マッチング : チームの希望を聞き後日マッチングへ移行

- 15:59 閉会宣言 : 事務局 安嶋 言一郎

[C] 15:20～15:59

『クロストーク』

参加希望者との質疑応答

“社会デザイン”の意味の解説からチームのマッチングに関するアドバイスまで・・・
皆さんの疑問を解消するトークショーです。

ファシリテーター

日本アイ・ビー・エム株式会社
テクノロジー事業本部
クライアント・エンジニアリング部
ビジネス トランスフォーメーション
コンサルタント

中山 透様

パネリスト

主催者代表

デザインコンテスト
実行委員長

山下 敏男

参加者代表

東京工科大学大学院
デザイン学部 デザイン学科
大学院 デザイン研究科
講師

相野谷 威雄 先生

協賛企業代表

日本アイ・ビー・エム株式会社
テクノロジー事業本部
クライアント・エンジニアリング部
デザイナー

佐藤 圭一 様

■ トークショーのテーマ

【1】『“社会デザインとEV”2040の提案』の**社会デザイン**の意味とは？

- ・デザインという言葉の定義
- ・“考察”を重視する理由

【2】『**融合型人材**』の発掘・育成と我々が期待する『共創』の概念

- ・目まぐるしく変化するビジネス環境において、共創によって競争優位性を確保する？
- ・企業の現場における危機意識は？

* チームを作るための“マッチング”作業の具体的解説は別途

■ テーマ : 1

『“社会デザインとEV”2040の提案』の**社会デザイン**の意味とは？

- ・ デザインという言葉の定義
- ・ “考察”を重視する理由

■ テーマ : 2

『融合型人材』の発掘・育成と我々が期待する『**共創**』の概念

- ・ 目まぐるしく変化するビジネス環境において、
共創によって競争優位性を確保する？
- ・ 企業の現場における危機意識は？

『クロストーク』 END

A circular background graphic with a light blue gradient. It contains various terms related to electric vehicles and sustainable design, such as 'EV', 'Innovation', 'Subscription', 'Connectivity', 'MaaS', 'SDG', 'Art', 'Shared & Services', 'Energy', 'Carbon Free', 'UX', 'Electrification', 'Environment', 'Sustainable', 'Happiness', 'Value', 'Design', 'Autonomous', 'after 5G', and 'EV'. A white hand icon is pointing upwards from the bottom center of the circle.

■ご質問コーナー

わからないこと、気になることがあればご質問をお願いします。

Slidoアクセス用QRコード



■アンケートはこちらに回答をお願いします。(期限6月1日)

<https://onl.tw/d27iLx6>



皆様の参加申込を心よりお待ちしております!!

参加申し込み〆切 6月20日 (月)

一次審査作品〆切 7月19日 (火)

Timetable

- 15:00 開会宣言 : 事務局 安嶋 言一郎

[A] 15:01~15:05 『アイスブレイク』 : 日本IBM 中山 透氏

[B] 15:05~15:20 『コンテスト主旨および補足』 説明

- ・ 5分 主旨説明 : 山下 敏男 実行委員長

- ・ 10分 補足説明 : IBM 佐藤 圭一氏

[C] 15:20~15:59 『クロストーク』 参加者との質疑応答

- ・ ファシリテーション : 日本IBM 中山 透氏

- ・ パネラー : 山下 敏男 実行委員長+日本IBM 佐藤 圭一氏+東京工科大学 相野谷 威雄先生

- ・ 相談会 : 事前にSNSで戴いた内容や当日の質問に回答

- ・ マッチング : チームの希望を聞き後日マッチングへ移行

- 15:59 閉会宣言 : 事務局 安嶋 言一郎

説明 & 相談会

END

皆様のご協力に感謝します。
是非デザインコンテストに参加してください。
ありがとうございました！！